

1 件 名	<p>創意と工夫の地域づくりの推進 「地域づくり委員会の継続発展に向けて」</p>
2 意見内容	<p>真田地域では、地域住民との協働による住みやすく潤いのあるふるさとづくりを推進するため「地域づくり委員会」を開催してきました。</p> <p>地域らしさを活かした分権型の住民自治の実現がより一層求められるなか、新生上田市においても注目されている「地域づくり委員会」を継続し発展させることにより、真田地域まちづくり方針の一つである「創意と工夫の地域づくりの推進」を図るため以下の提言をいたします。</p> <p>(1) 地域づくり委員会の目的・役割を見直す</p> <p>事業要望等については事前に自治会内での取りまとめを依頼するなどし、地域づくり委員会の目的・役割を、行政からの情報伝達と地域課題についての協議に変える。このため「地域づくり委員会要領」を、行政からの情報伝達、地域要望、提案型意見などに区分・整理し、委員会で取り扱う内容を明らかにして、その取組みを推進する必要があると思われまます。</p> <p>(2) 委員会の場の設定を検討</p> <p>自治会単位での委員会開催のみならず、幾つかの地域が共通して抱える問題等に対しては、必要に応じて自治会連合会単位などの広い範囲で地域課題を議論する場を設けることを検討し、また、各種団体との連携を図る上から、各種団体との意見交換の場も設けるべきと考えます。</p> <p>(3) 地域で自由裁量が可能な予算の確保</p> <p>現在、市では魅力アップ事業で地域の自主性が発揮できるよう取り組まれています。地域づくりをさらに議論し実行に移すために、地域自治センターが自由裁量できる予算枠の確保が望まれます。このことを仕組みづくりとともに是非検討していただきたい。</p> <p>(4) 継続性の担保</p> <p>議論や取り組みを継続させるため、自治会委員の複数年化の検討や、必要に応じて実行組織を設ける、又は、既存の団体を活用するなど、地域おこしに果敢に挑戦することも重要と思われまます。</p>

平成22年度地域づくり委員会 事業調書について

1 要望種類別

種 類	要望数	実施数	割合
道 路	139	41	29.5%
道路・水路	2	0	0.0%
水 路	57	6	10.5%
交通安全	6	1	16.7%
防 犯	1	0	0.0%
社会教育	9	1	11.1%
農 業	17	4	23.5%
そ の 他	58	15	25.9%
計	289	68	23.5%

(数値は、地域づくり委員会での要望のうち、国・県に対する要望を除き、市に対する事業要望を抽出した。)

(要望種類別のうち、その他として提出されているものは、観光施設、消防施設等の整備等に関するもの)

2 担当課別

担 当 課	要望数	主 な 要 望 内 容
地 域 振 興	5	防災に関すること、自治会施設整備等
市 民 生 活	2	生活環境に関すること
健 康 福 祉	2	保育園整備、福祉助成等
産 業 観 光	75	用水路・農道等の補修・改修、観光施設整備等
産 業 観 光 ・教育事務所	1	
産 業 観 光 ・地域振興	1	
建 設	178	道路・排水路等の補修・改修等
建 設 ・産業観光	4	
建 設・消 防	1	
上 下 水 道	2	上下水道施設整備等
教 育 事 務 所	12	公園、教育施設整備等
消 防	6	消火栓、防火水槽整備等
計	289	